

## 文化景観としての地形・事物・事象の保全対策の検討（案）

## ■ アイヌ語地名

- ・ 現地におけるアイヌ語地名の標示解説の設備や沙流川流域アイヌ語地名データベースの構築・公開などを行い、次世代に継承していく。
- ・ 手近なところでは、額平川流域のアイヌ語地名など、平取町内の地域毎にアイヌ語地名を紹介する印刷物等を作成し、普及啓発を図るところから実践していくことが望ましいと考えられる。
- ・ 例えば、アイヌ語地名マップを持って、沙流川流域のバス探検ツアーを行う。
- ・ アイヌ語地名の紹介のほか、アイヌ文化に関わりの深い動物が登場する口承文芸の発表なども織り交ぜたプログラムを実施する。

## ＜アイヌ語地名に関する印刷物イメージ実例紹介（平取町調査班）＞

アイヌ語地名のデータベースを活かして、地元ならびに来訪する一般の人々を対象にアイヌ語地名ならびにアイヌ文化を周知していくことを目的として、わかりやすい説明資料の作成を目指す。

## ＜アイヌ語地名を訪ねる現地説明会の事例紹介＞

「平取町重要文化的景観現地説明会～冬季編～」（平取町主催）

2008年1月19日（土）13：30～16：30

アイヌ語地名の景勝地等をバスで訪ねて、現地で有識者から説明を聞いた。



オキクルミのチャシ跡付近  
で説明を聞く



ウカエロシキの前で説  
明を聞く



オプシヌプリの説明看板